

消化器内科に過去に通院又は入院された患者さんまたはご家族の方へ
臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報／研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和5年3月27日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名] 消化器悪性腫瘍患者の骨格筋量評価における血清および尿中タイチンの有用性に関する後方視的検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院・病院長 渥美 達也

[研究責任者名・所属] 小松 嘉人・北海道大学病院腫瘍センター

[研究の目的]

筋肉が損傷を受けたときに、筋肉を構成するタンパク質である血清および尿中のタイチンが上昇することが知られており、筋肉量の低下の程度を知るためにタイチンの濃度が有用である可能性が指摘されています。本研究では、消化器悪性腫瘍患者の骨格筋量の評価に、血清および尿中タイチンが有用であるかを探索することを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

消化器悪性腫瘍の患者さんで、2024年1月1日から2024年11月30日までの間に北海道大学病院消化器内科に通院又は入院した方

○利用する検体・情報

検体：血液、尿

（「北海道大学病院 消化器内科：診療目的で採取された血液・組織や、研究目的に提供いただく血液などの研究用保管とその利用について」という研究に同意いただき採取し、保管している検体を用います）

血清および尿中タイチンを測定します。

情報：2026年10月31日までの情報を収集します。

診断名、年齢、性別、身長、体重、診断名、全身状態、既往歴、併存症、内服薬、検査結果（血液検査、尿検査、体組成測定、画像検査）、抗がん剤の内容、化学療法の有効性に関する情報

[研究実施期間]

実施許可日(検体・情報の利用開始：2024年8月頃)～2026年12月31日

2024年12月23日（第1.2版）

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの検体や情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に検体や情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[北海道大学病院の連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北14条西5丁目

北海道大学病院 腫瘍センター 担当医師 金子志帆

電話 011-716-1161 FAX 011-706-7627